



おひざのうえで 2022

(副園長の子育て応援通信)

7月「子どもの育ちを元に」

せんりひじり幼稚園

副園長 安達かえで

幼稚園の七夕祭りの行事は、以前は、夕方から全園児が浴衣を着て集まり一斉に盆踊りを踊っていました。最後には屋上から打ち上げ花火が上がります。夕方に浴衣を着て集まってくる子どもたちの姿がかわいくて、日本の伝統を感じる行事でした。

ところがコロナ感染が拡大してから、七夕の行事も大きく見直しました。「七夕ウィーク」として七夕の日だけではなくその前から少しずつ笹飾りを作って飾り、七夕の雰囲気味わおうという試みです。また、年長組のクラスが「七夕パーティー」を兄弟学級のために企画してくれます。司会はもちろん自分たちでします。ばら組は、おみくじをしてから盆踊りを踊り、そして、ジェスチャーゲームをやって、最後にフルーツポンチをふるまうという素敵なパーティを実行してくれました。花火の代わりにすてきな飾りつけで盛り上げてくれます。司会係・踊りのリーダー・飾りつけ係・ごちそう係に分かれて自分たちで企画から実行までやります。年中組と年少組はその姿を見て様々な影響を受けていきます。(明日、パーティーの様子を少しだけ動画配信しますね)



この七夕パーティーで育つ力は、「どんな催しをするかを企画する力」「みんなで話し合っ決めていく協同性」「兄弟学級の年少さんの反応を思い浮かべながら内容を考える見通す力・思いやり」「わかりやすく伝えようとする表現力や言語力」「どんな段取りで実行するか周囲を見ながら調整していく力」など、驚くほど様々な力が育ちます。

せんりひじり幼稚園では、今の子どもの育ちを元にその後の子どもの育ちを見通して、行事や保育計画を立てます。子ども理解なしの計画や保育実践はありえないので、毎月、保育者たちで子どもの姿を元に育ちの物語を語り合い、育ちつつある力を分析し、次への保育に繋げていきます。スポーツ選手がスキル向上のために日々の筋トレが欠かせないのと同じように、保育者も子ども理解の力を向上させるためのトレーニングが必要です。せんりひじり幼稚園では、継続的に「子どもの写真を元にした育ちの語り合い」をしています。その「筋トレ」を続けていくためには、子どもの姿を肯定的に捉えること、語り合いを楽しむことが鍵です。

爆笑をまじえながら、子どもの育ちつつある力を語り合っている先生たちの姿を見て、「保育者として育っているなあ〜」と嬉しそうに眺める私でした…。

